

みなさん、こんにちは。
いよいよ待ちに待った夏休みが近づいてきました。
県立文化施設では、楽しい展示会やイベントがたくさんありますので、お友達を誘って遊びに行きませんか？

けんりつびじゅかん けいりつびじゅかん
県立美術館・博物館・考古博物館

ぶんがくかん やまなしきんたいじんぶつかん
文学館・山梨近代人物館

なつやす
夏休みスタンプラリーが
始まります！

しちがつじゅうごにち
七月十五日(土曜日)から八月三十
いちにち(木曜日)まで、県立美術館・博物
かん・考古博物館・文学館・山梨近代人物
かん・山梨ジュエリーミュージアムの六
かんで、幼児から高校生までを対象に、
夏休みスタンプラリーを開催します。

がっこう
学校を通じて配られる「スタンプブ
ック」に六館全てのスタンプを押して
もらおうと、最後に押してもらった館の
プレゼントがもらえます。
さらに、達成者は、豪華な景品があ
たる抽選に応募することが出来ます。

ろっかん
六館のスタンプを全て集めて、すて
きなプレゼントをゲットしよう！

なお、スタンプラリーは県立図書館
と科学館では行いませんので、ご注意
ください。



夏休みスタンプラリー
スタンプブック

けんりつびじゅかん
県立美術館

とくべつてん
特別展「ヴラマンク展」

かいはごとば つむ じんせい
絵画と言葉で紡ぐ人生



モーリス・ド・ヴラマンク(一八七
六一―一九五八年)は、フォーヴィスム
(野兽派)の巨匠として知られるフラ
ンスの二十世紀を代表する画家の一
人です。力強い色彩や筆触、そして
濃厚なマチエールが特徴的なヴラマ
ンクの作品は、日本においては、大正
から昭和期に活躍した佐伯祐三、荻須
高徳ら日本人画家にも大きな影響を
与えました。



モーリス・ド・ヴラマンク 《サイロ》
1950年 油彩・カンヴァス ©ADAGP

本展では、ヴラマンクの画業のうち、
独自の画風を築いた時期とされるヴァ
ル・ドワーズとシャルトル近郊滞在期
に焦点を当て、彼の作品の魅力を紹
介するものです。初期にはバリで活動
を行い、マティスらと共に前衛的な
絵画運動の当事者であったヴラマンク
ですが、第一次世界大戦後には、文明か
ら距離を置き、静かに絵画制作に打ち
込むことができる環境を求め、にぎや
かなパリから離れた土地に拠点を設け
ます。ヴラマンクが尊敬したゴッホが

死の直前に活動した土地であるヴァ
ル・ドワーズ、近隣の風景や自宅内の静物
辺に移り、近隣の風景や自宅内の静物
といった身近な対象を主題とし、観察
をおこなうことで自身の内に湧き起こ
る感情を表現の中心に据え、芸術家
としてのヴィジョンを提示し続けまし
た。

本展覧会では一九〇七年頃の作品を
出発点に、彼独自の作風を確立し、生
涯を閉じるまでに制作された油彩画・
版画計約六十点を展覧いたします。ま
た、作品と共に、優れた文筆家であつ
たヴラマンクの言葉を紹介すること
で、激動の時代を力強く駆け抜けたヴ
ラマンクの芸術家人生に迫ります。

開催期間は九月二日(土曜日)から
十月二十二日(日曜日)まで。

けんりつびじゅかん
県立博物館

きかくてん じんるい うちゅう
企画展「人類と宇宙」

ほしぞら
星空をめぐる歴史物語



よぞら
夜空を見上げると、月をはじめ様々
な星の輝きが目に映り、私たちが楽
しませ、時として感動を与えてくれる
こともあります。星空に思いを馳せる
ことは、地域や時代を問わず、人々が
ずっと続けてきたことと言えます。
県立博物館で夏休み期間中に開催す
る「人類と宇宙」展は、人々が宇宙と
どのように関わってきたのか、その歴
史を紹介する展覧会です。世界最古の
本格的な天文図として知られるキトラ
古墳(奈良県)の天文図や、江戸時代の
山梨で作られた幅八メートルを超える
巨大な天文図、現代におけるロケット
開発の歴史や、人工衛星・探査機の実際
大模型を紹介いたします。また小惑星探

査機「はやぶさ」がイトカワから持ち帰
った微粒子の実際資料は山梨初公開と
なります。人々が宇宙に挑み続けてき
た足跡をたどることで、広大で今なお
謎に満ちた宇宙と、私たちが生きる地
球をより身近に感じていただくこと
ができます。



また、宇宙に関する講演会や、博物館
のお庭で星空の観察会、ワークショップ
など、関連イベントも各種開催しま
す。夏休みはぜひ博物館で宇宙旅行を
お楽しみください！
開催期間は七月十五日(土曜日)か
ら八月二十八日(月曜日)まで。

けんりつこくはくぶつかん
県立考古博物館

かきかくてん こくはく
夏季企画展「考古博の土偶」

じょうもんおうこくはく
縄文王国の土偶大集合



縄文時代の人々が盛んに作ってい
たものとして「土器」がよく知られて
いますが、もうひとつ忘れてはならな
いのが「土偶」です。
土偶はその名のとおりに土で出来た人
形のことです。山梨県内の遺跡からも数
多く発見されています。何のために作
られたのか明確にはわかっていません
が、一説には、当時の主食であった木
の実や動物がたくさん生まれますように、
子どもがたくさん生まれますように、
病気が早く治りますように、など、生き

ていく上でのさまざまな祈りを込める
ために作られたのではないかと考え
られています。

この夏の企画展では、そんな特別な
想いが込められた土偶の数々を紹介
します。特にみなさんに注目してもら
たいのは、それぞれの土偶たちが見
せる個性豊かな表情やポーズ。笑つ
ているのか、困っているのか、驚いて
いるのか、答えは一つではありません。
ぜひみなさんも本物を間近でじっくり
と観察して、土偶たちの気持ちを想像
してみてください。



縄文時代中期
土偶 縄文時代前期
原町農業高校前遺跡
(北杜市)

本展では他にも「土偶と埴輪」つてど
こが違うの?」「どんな意味があるの?」
など、みなさんからの素朴な疑問にも
お答えします。
ちよつとふしぎでおもしろい「考古
博の土偶」ワールドを、ぜひ見に来て
ください。開催期間は七月十五日(土曜
日)〜八月二十七日(日曜日)まで。

けんりつぶんがくかん
県立文学館

さっか
作家のデビュー展「開催」



教科書や図書館などで名前を見かけ
る有名な作家にも、作家として出発し
たばかりの時期がありました。はじめ
て発表した作品が大きな注目を集め
た人、最初はあまり注目されなかった
けれど、何か発表してから評価され
るようになった人。作家としての第一
歩は、人によってそれぞれです。この

展覧会では、山梨にゆかりの深い作家のデビューの頃に注目し、作品の魅力や、デビュー当時の抱負や悩みを紹介いたします。



芥川龍之介



樋口一葉



太宰治

高校の教科書でおなじみの芥川龍之介の小説「羅生門」は、最初に出した本『羅生門』（一九一七年五月、阿蘭陀書房）のタイトルにもなった作品です。教科書では、主人公の呼び名は「下人」となっていますが、芥川がノートや原稿用紙に何度も書き直した下書きには、「二人の侍」「交野平六」など、様々な呼び方が使われており、何度も書き直した跡が見られます。

また、「太宰治」の名前入りの最も古い原稿とされる「陰火」原稿を展示します。本作は、一九三六（昭和一一）年四月に「文藝雑誌」に発表された後、太宰の初めての本『晩年』（一九三六年六月、砂子屋書房）に収録されました。その頃の太宰は、砂子屋書房で編集を担当していた浅見淵に何度も手紙を送っていました。「早く自分の本を出したい」と訴える、当時の太宰の気持ち

が記された手紙も展示します。

さらに、現在活躍中の山梨県出身作家のデビューの頃も紹介。林真理子氏「葡萄が目にしみる」草稿のほか、

保坂和志氏「プレインソング」、神永学氏「心霊探偵 八雲」、辻村深月氏「冷たい校舎の時は止まる」など作家の方々が「作家のデビュー展」のために執筆したデビュー作の冒頭部分原稿も展示します。また、七月三十日（日曜日）には、辻村深月氏と、当館館長・三枝昂之との対談形式の講演会も開催いたします（お申し込みが必要です）。

会期中には、コミックやアニメで人気の「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーション企画もあります。くわしくは、山梨県立文学館のホームページをチェックしてください。開催期間は七月十五日（土曜日）～八月二十七日（日曜日）まで。



指紋鑑定をはじめ、DNA鑑定や画像解析方法など科学捜査の最新技術をわかりやすく紹介いたします。会場内にセッティングされた事件現場から、真犯人をゲーム感覚で探す科学捜査体験や「謎解きチャレンジ」もあります。

開催期間は、七月十五日（土曜日）から八月二十七日（日曜日）までです。多目的ホールにて毎日開催しますので、多くの方のご来館をお待ちしています。



「科学捜査展」真犯人はだれ?!

また、関連イベントとして、七月二十九日（土曜日）には、山梨県警本部ご協力の下、「白バイ試乗と制服試着（予約不要）、指紋採取体験（要予約）、似顔絵制作（要予約）」、八月五日（土曜日）には、「名探偵コナンとの記念撮影や握手会（当日整理券が必要）」の開催、八月十九日（土曜日）には、科学捜査に関するトークイベントも行います。そのほか、コラボ企画も多数あります。詳しくは、県立科学館ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。電話は〇五五・二五四・八一五一です。

県立図書館
「贈りたい本大賞」
大切な人に贈りたい一冊！
作品募集



皆さんが、大切な人に本を贈るなら、どの本を、どのような理由で選ぶでしょうか。

県立図書館では、大切な人に贈りたい本と、一五〇字以内の推薦文（その本を選んだ理由、贈りたい理由）を募集します。応募の中から大賞作品を五点選び、大賞受賞者に賞状と図書カード一万円分をお贈りします。

応募期間は、六月二十六日（月）～七月九日（木）です。募集期間は、六月二十六日（月曜日）から七月七日（木曜日）です。県立図書館などにある応募用紙に記入し、郵送、



贈りたい本大賞ポスター

FAX、メール、県立図書館へ持参のいずれかによりお送りください。応募用紙は、県立図書館のホームページからもダウンロードできます。お問い合わせは、〇五五・二五五・一〇四〇まで。

山梨近代人物館
「人物館の夏休み」



みなさん、今年の夏の予定は決まっていますか？山梨近代人物館では、夏休み期間中に、みなさんが楽しめる企画をご用意してお待ちしています。

①ぬり絵で「知る・分る・楽しむ」
七月十五日（土曜日）から三十一日（木曜日）までの期間中、若尾逸平、村岡花子、内藤多仲や山梨県庁舎別館のぬり絵が楽しめます。人物の紹介も分かりやすく書いてありますので、ぜひチャレンジしてみてくださいね。

②「県庁舎別館をスケッチしよう」
昭和五年に建てられた山梨県庁舎別館は、西洋と東洋の建物の様式が組み合わされた大変貴重な建物です。講師の先生のアドバイスを受けながら、夏休みの絵日記や思い出の一枚として描いてみませんか。

日時：八月五日（土曜日）午前九時～午後一時（受付 八時五十分）
対象：小学一年生から六年生（小学一年生は保護者同伴）
定員：三十名（お申し込みが必要です）



若尾逸平

③「山梨近代人物館のイメージキャラクター」
人物館で紹介しているあなたのお気に入りの人物をイメージして、「オリジナルキャラクター」を考えてみてくださいか？ご応募いただいた作品は、山梨近代人物館で展示します。応募期間は八月一日（火曜日）から三十一日（木曜日）まで、対象は高校生まで。

詳しくは、山梨近代人物館ホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。電話は、〇五五・二五五・〇九八八。

先生方へ「博学連携のお知らせ」
美術館、博物館、考古博物館、埋蔵文化財センター、文学館、科学館、

美術館、博物館、考古博物館（埋蔵文化財センター）、文学館、科学館では、教育プログラムの開設や出前授業、貸出教材など各館の特色を生かした教育普及事業を実施いたします。

詳細は各館担当者までお気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

- 県立美術館 学芸課 電話 〇五五・二二八・三二五八
- 県立博物館 企画交流課 電話 〇五五・二六一・二六三一
- 県立考古博物館 学芸課 電話 〇五五・二六六・三八八一
- 埋蔵文化財センター 電話 〇五五・二六六・三〇一六
- 県立文学館 学芸課 電話 〇五五・二三三・八〇八〇
- 県立科学館 電話 〇五五・二五四・八一五一

美術館、博物館、考古博物館、文学館では、小・中・高・特別支援学校の児童・生徒は、常設展・特別（企画）展を無料で観覧できます。